

2026 年 9 月 17 日

各 位

大阪府大阪市中央区道修町1丁目6番7号
株式会社 O D K ソ リ ュ ー シ ョ ン ズ
代表取締役社長 勝根 秀和
(コード番号: 3839 東証スタンダード)
問い合わせ先: 常務取締役 作本 宜之
電話番号: (06) 6202-0413
U R L : <https://www.odk.co.jp>

金融機関の制度改正対応を A I で効率化する新サービス 制度対応 A I エージェント『Avi-X (アヴィクロス)』β 版の 無料トライアル開始

～情報収集から影響分析・対応方針案作成の全プロセス支援に向け、基盤機能を先行提供～

株式会社ODKソリューションズ（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：勝根 秀和、以下 当社）は、金融業界の現場担当者の業務負荷が高い制度改正対応を、生成 A I の活用で効率化する新サービス、制度対応 A I エージェント『Avi-X (アヴィクロス)』（以下 本サービス）の β 版について、無料トライアルを 2026 年 10 月より受付開始いたします。



制度対応 A I エージェント『Avi-X (アヴィクロス)』: <https://sakix.jp/ai-agent>

本サービスは、金融機関の法・制度改正時の業務を効率化し、制度改正対応の社内ナレッジの蓄積に貢献する A I エージェントです。2026 年 10 月より開始する β 版では「情報収集・要約・アラート通知」の基盤機能を提供いたします。さらに今後は、金融業界の現場で最も負荷が大きい「自社業務への影響範囲の自動判定」「部署横断の調整論点抽出」「対応方針案・上席承認資料の自動生成」「対応実績の蓄積によるナレッジ蓄積・精度向上」といった実務支援機能を実装してまいります。

金融業界の現場担当者が担ってきた、法・制度改正にともなう情報収集・一次解釈、資料作成を一体で支援するプラットフォームへ進化させ、属人化の排除と高度なナレッジマネジメントの実現を目指します。

制度対応A I エージェント『Avi-X (アヴィクロス)』提供の背景

当社は、金融ソリューション『SAKIX (サキガケ)』を通じ、証券会社をはじめとする金融業界のバックオフィス業務をサポートしてまいりました。

法・制度改正や関係ガイドラインの改定が頻繁に行われる金融業界において、膨大な公表文書の精査にともなう業務負担や属人化の解消は、現場の大きな課題となっています。金融特有の複雑な制度対応においては「自社への影響を解釈し、対応方針を立てる」業務が不可欠であり、単なる情報収集ツール・生成A I 要約だけでは根本的な業務削減につながりません。

こうした状況を受け、当社の実績と知見に生成A I 技術を掛け合わせ、金融機関の法・制度改正対応の効率化・標準化を実現するA I エージェントとして、本サービスを開発いたしました。

制度対応A I エージェント『Avi-X (アヴィクロス)』の特長

本サービスは、金融機関における制度改正対応フローの全業務プロセスの自動化・高度化を目指しています。

β 版では情報収集・要約・アラート通知機能を提供し、今後の開発では、影響分析から対応方針案の自動生成、ナレッジ蓄積までを一気通貫で実現する機能を拡張いたします。

【β 版での提供機能】

- 自動収集・要約

日々更新される金融庁や各業界団体の公表文書を収集し、必要なポイントをA I が的確に要約・提示。実務担当者の「下調べ・事前確認作業」を大幅に削減できます。

- アラート通知

事前登録したキーワードに合致する文書の公開を、タイムリーに検知しメール通知。手作業での情報確認の手間をなくし、上席報告や現場対応までのスピードを劇的に短縮します。



【順次拡張予定の機能】

- 制度理解の標準化と影響度の可視化

収集した公表文書の情報を用語の定義に基づき整理し、自社の業務・規定・システムと紐づけてデータ構造に変換します。制度改定による影響度を数値で可視化し、対応の優先度判定を支援します。

- 影響範囲の抽出・部署横断調整の自動作成

「どの部署・業務・規程・システムが影響を受けるか」の影響範囲をA I が抽出。影響範囲に基づき、関係部署リストや調整論点、会議アジェンダを自動生成し、初動の調整プロセスを最短化します。



データに、物語を。

● 対応方針案と上席承認用の自動生成

変更点・リスク・対応方針案を網羅した上席承認用資料を自動作成。A I が判断した根拠もあわせて提示することで、上席者や監査への説明負担を軽減します。

● 過去データの蓄積によるナレッジマネジメント

過去の制度改正対応における「判断・調整」の結果や修正理由をシステム内に蓄積。対応実績を重ねることで、A I による論点抽出や判断の精度が向上し、担当者の経験則への依存（属人化）を排除します。



※画像は開発中のものであり、実際の仕様とは異なる場合がございます。

導入のメリット

1. 情報収集の迅速化と自動化

新着情報の自動検知と要約機能により、変更点や影響を瞬時に把握できます。法改正の公表から上席報告・現場周知までのリードタイムを短縮し、組織の俊敏性を高めます。

また、長文資料の収集・要約を自動化し、読解や整理にかかる時間を大幅に削減します。

2. 取得情報源の網羅性と情報元追加の柔軟性

金融庁をはじめ、全国銀行協会や全国信用金庫協会、全国信用組合中央協会、日本証券業協会等の様々な取得情報源を網羅しています。ご要望に応じて、情報元の柔軟な追加登録も可能です。

3. 属人化の排除とコンプライアンス体制の強化

担当者の経験則への依存や、解釈・資料品質のブレといった属人的な課題を解消します。公式情報に基づく定型出力と原文の紐づけにより、対応品質の標準化を支援し、組織全体のガバナンス強化に貢献します。

無料トライアル受付中

本サービスの無料トライアルを実施中です。情報収集・アラート・要約機能を体験可能ですので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

本サービスの概要や具体的な活用シーン、導入メリットは、『SAKIX（サキガケ）』ソリューションサイト (<https://www.sakix.jp>) でもご紹介しております。

- ・無料トライアルのお申込み・お問い合わせ：<https://sakix.jp/form/contactus.html>
- ・無料トライアルお申込み期間：2026年10月～2027年3月

『SAKIX（サキガケ）』シリーズについて



『SAKIX（サキガケ）』シリーズは、金融業界のバックオフィス業務の効率化を目的とし、以下6つのシステムで構成されています。

1. 証券総合システム『WITH-X（ウィズクロス）』
2. ほふり接続システム『COMBI-X（コンビクロス）』
3. IFA 専用 Web 取次システム『KIZUNA-X（キズナクロス）』
4. 不公正売買監視システム『FOR-X（フォークロス）』
5. 『SAKIX 公的個人認証サービス（JPKI）』
6. 制度対応 A I エージェント『Avi-X（アヴィクロス）』

各システムの詳細はこちら：

『SAKIX（サキガケ）』ソリューションサイト：<https://www.sakix.jp>

【株式会社ODKソリューションズ】

〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町一丁目 6 番 7 号

代表者：勝根 秀和

設立：1963 年（昭和 38 年）4 月 1 日

資本金：6 億 3,720 万円（2026 年 3 月 31 日現在）

Tel：06-6202-3700（代表）

Fax：06-6202-0445

URL：<https://www.odk.co.jp/>

事業内容：教育・金融・医療分野へ I T サービスを提供

※『SAKIX（サキガケ）』『WITH-X（ウィズクロス）』『COMBI-X（コンビクロス）』『KIZUNA-X（キズナクロス）』『FOR-X（フォークロス）』は、当社の登録商標です。

『ビジネスを、スマートにつなぐ。人生の、ストーリーをつむぐ。』

I T の力で、すべての人の人生に喜びをもたらしたい。私たちのビジネスは、夢に向かって挑戦する人の人生を、より素晴らしい方向へとリードするソリューションでありたいと願っています。

1963 年の創業以来、積み重ねてきたデータと経験で、お客様のビジネスをスマートにつなぎ、そして、より豊かな人生のストーリーをつむいでいきます。